

外国人材とともに働く

国や文化の違いを超えて、ともに働く仲間として支え合う。

今、多くの企業現場で「外国人材」は欠かせない存在となっています。少子高齢化が進む日本において、社会の持続性を保ち、企業競争力を高めるためには、海外の優秀な人材を積極的に受け入れ、多様な価値観や発想を企業経営に取り込むことが重要です。

本特集では、職場や社会での共生・協働の在り方を見つめ直すとともに、商社で働く外国人材が抱く本音をお届けします。日本が優秀な外国人材から「選ばれる国」になるために取り組むべき「内なる国際化」について考えるきっかけとなれば幸いです。

~ CONTENTS ~

◆寄稿

ダイバーシティ&インクルージョンと外国人
—持続可能で活力ある組織づくりの視点から—
一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎

◆特別座談会

外国籍商社パーソンがホンネで語る日本の職場
—実はこんなことをしています—